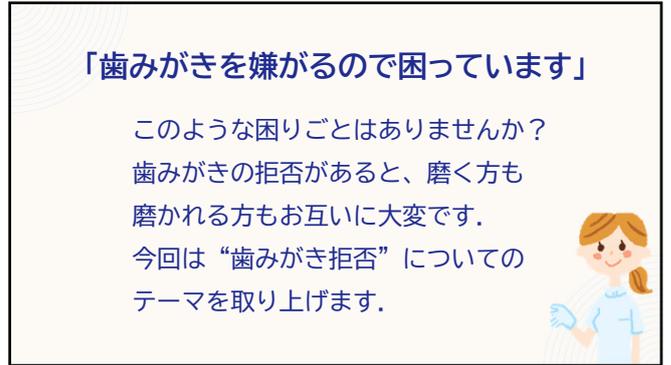
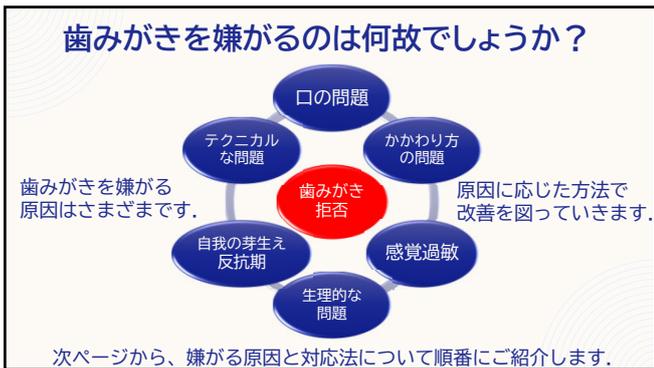




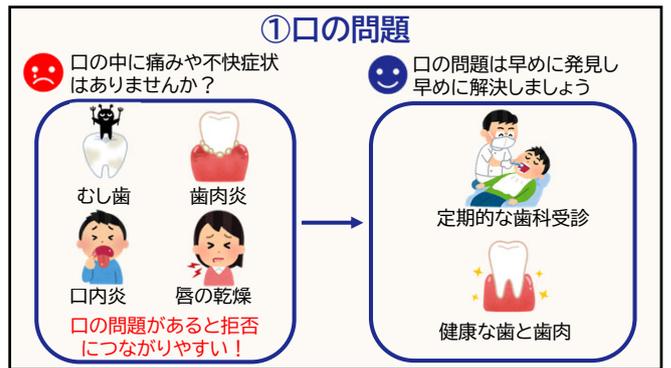
1



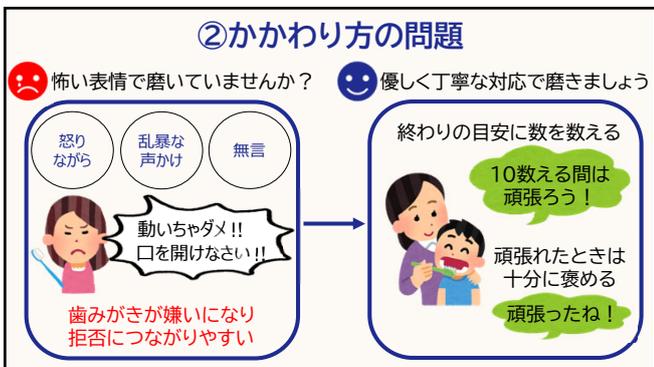
2



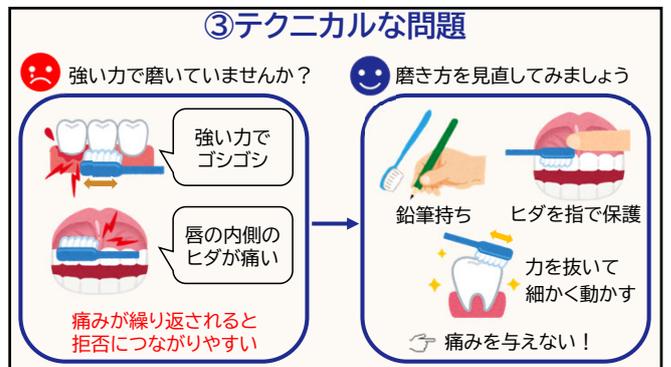
3



4



5



6

④磨く姿勢の問題

磨く時の姿勢はいかがですか？
 姿勢を見直してみましょう

目線が高い
 口の中が見えづらい
 上を向き過ぎて呼吸しづらい

苦しい姿勢で磨くと拒否につながりやすい

寝かせ磨き 対面磨き
 後方磨き

お互いが楽で口が見やすい

7

⑤生理的な問題

体調や気分はいかがですか？
 調子の良いときに行いましょう

空腹 体調不良 眠気

欲求が満たされない状態だと不快刺激になりやすい

調子が悪い時は無理をしない

次の日にしっかり磨きましょう

8

⑥感覚異常の問題

触られて極端に嫌がることはありませんか？
 日常の体験で少しずつ刺激に慣れさせましょう

触ると痛い！不快！ヤダ～

触覚過敏がある場合は拒否につながりやすい

日常体験の刺激

入浴 食事 遊び

過敏除去の方法は次へ

9

口腔周囲や口の過敏除去の方法

口の周りや口の中を手のひらや指で圧迫することで、触られる刺激に慣れさせていきます



1
頬:手のひら



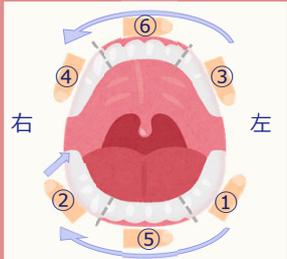
2
口周囲:指の腹



3
口腔内(歯肉):指

10

歯肉に指を当てる順番 (脱感作)



一箇所10秒ずつ指を当てる
 指の腹で一定の圧を加える
 ゴシゴシ動かさない
 一定期間は毎日行うことが大切

11

⑦ライフステージの問題

自我の芽生えや反抗期ではありませんか？
 本人の意思を尊重しつつ仕上げ磨きの習慣を維持する

3歳前後 12～17歳

反抗期では自立心が高まり嫌がる場合があります
※個人差があります

自分で磨いた後に仕上げ磨きしよう

12

口を開けない・歯ブラシを噛んでしまうときは

指で口を開ける方法



下の前歯と唇の間に指を入れる
指を押し下げる
押し下げたまま歯を磨く

器具を使う方法



<http://www.bite-lock.com/>

開口グッズを咬ませて磨く

安全のため個々に適した方法をご提案します

おわりに

歯みがきの拒否を改善するには、適切な対応を根気強く続けることが大切です。
毎日の歯みがきが心地よい時間となるよう、出来るところからはじめましょう。
お困りの方はスタッフまでお気軽にご相談ください。

